

環境整備

川口 憲男 議員

ポイ捨て禁止条例の制定は 内容を再検討し保留



道路沿い等に立札を設置し、啓発を促している

平成14年3月議会で、空き缶、ポイ捨て禁止条例制定について質問し、「14年度には近隣5カ町との話し合いで前向きに取り組み」の答弁がありました。その後の本町の取り組み、施策をどう講じられたか考えを伺いたい。

今議会で上程しようとしていましたが、他市町において罰則条項等を設けたあったり、また他市町のアンケート調査の結果を勘案し合併問題も微妙な状況にあることから、現在はもう少し様子を見て、できることなら薩摩東部衛生処理組合を構成している各町と同時に上程した方が良いのではないかと考えているところです。

要旨 永年農道を町道に認定していただけるよう地域内で検討を重ねてきたが、認定基準に達せず要望を控えてきたが、この度、地域の話し合いもできたため、町道認定してほしい。
陳情者 下京塚原公民館長 東悟郎他4人

要望書（町道の認定について）

3月定例会に提出された陳情書3件を審査し、いずれも採択としました。内容は次のとおりです。



町道谷川線より岩之上団地に通じる町道認定に関する陳情書

要旨 谷川王子野線から岩之上団地に抜ける作業路を、町道として認定・整備してほしい。
陳情者 谷川自治公民館長 王子野雅臣 岩之上自治公民館長 上之原征喜

要旨 最近の畜産をめぐる情勢は、畜産農家の規模拡大は進んでいるものの、担い手の減少や高齢化の進行などにより、生産基盤の脆弱化が進んでおり、畜産環境規制への対応などの環境対策もあわせて、畜産基盤の維持・強化が大きな課題となっているため。
陳情者 さつま農業協同組合代表理事組合長 井上初藏

理由 国が示している自給率目標や生産努力目標を踏まえ、生産者、生産者団体、行政等関係が一体となり、畜産の振興に向けた取り組みを進めている中で、国の政策支援の強化が必要のため。（発議第1号で意見書を農林水産大臣等に提出）

紫尾温泉

上大迫清盛議員

周辺整備の構想は 駐車場を拡張する



温泉、交流棟の完成により駐車場の拡張が予定されている

紫尾温泉周辺については、紫尾区によって温泉施設の改築も済み、町においては交流棟を新築中で完成も近く着々と整備が進んでいます。残された駐車場整備等の進捗よく状況と観光開発の構想について伺います。

本町にとつては重要な資源の一つであります。最近の観光を取り巻く環境は大きく変化しており、体験型観光に対応した受け入れ態勢が必要になってくることから、過日実施した紫尾温泉旅館を核とした体験観光モニターツアーを行ったところであります。

は、現在の駐車場を拡張する方向で最大80台の駐車スペースを想定しています。紫尾温泉周辺は「ダムと温泉の町」をキャッチフレーズに観光振興を進めています。



施設利用と併せ、売店の売り上げも期待される

あびる館の経営状況等、現在の内部状況等を含め、どのようなか。また、今後の経営安定のための



あびる館

宮之脇金次郎議員

経営状況は 経費節減に努める

対策等をいかに考えているか伺いたい。

町長 温泉の利用者は9月で前年度比65%と落ち込み、以降徐々に戻りつつありましたが、東郷町のゆつたり館が11月末に再オープン、紫尾温泉が12月末にオープンということもあり、再び減少し、2月では前年

度比86%と客足は戻りつつあり、現在ではレジオネラ等の問い合わせもほとんどなくなってきました。町内の温泉客はほぼ100%戻ってきているが、町外の温泉客が昨年比に比べ約80%ぐらいで、これに併せ売上げも最大前年度比73%に落ち込む月があり、売上げが大きく落ち込んだことなどから、支出面の抑制と徹底した経費の節減を指示しています。

経営の見通しは2月24日に開催した取締役会では補助金を予算額全額補助した場合に、単年度で約30万円弱程度の赤字の見通しと予想している。